

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	裂孔原性網膜剥離の硝子体手術中に作成する意図的裂孔が術後増殖性変化を来しうる要因の検討
所属科*	眼科
研究責任者*	石橋朋幸
研究実施期間	開始 西暦 2024年 8月 7日 ~ 終了 西暦 2025年 3月 31日 (予定)
対象疾患 (予定症例数)	裂孔原性網膜剥離 (約 500 症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2020年 1月 1日 ~ 至 西暦 2022年 12月 31日
研究概要*	<p>裂孔原性網膜剥離の硝子体手術において意図的裂孔の作成は従来から一般的な手技として行われてきたが、近年、意図的裂孔と術後増殖性変化や術後網膜非復位との関連が報告されるようになった。ただし、このような報告では意図的裂孔の有無のみを検討しており意図的裂孔の詳細な評価はなされていない。現在の術式では意図的裂孔の作成が必要となる症例は依然として存在するため、その作成を如何に非侵襲的に行うことが出来るかが重要である。</p> <p>本研究では、当院での3年間の裂孔原性網膜剥離に対する硝子体手術(約500症例)を対象に、意図的裂孔に生じる術後増殖性変化の発症頻度やそのリスクファクターについて検討する。</p>
倫理的配慮・個人情報保護の方法について*	連結可能匿名化を行う。対応表はそれぞれの部署(施設・研究室)で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。
研究の問い合わせ先*	大阪労災病院 眼科 石橋朋幸 Email: t.ishibashi0824@gmail.com

*記入必須項目